

埼玉県 MINJIKYO DAYORI 民児協だより



平成29年10月1日発行

No.154



幸せを呼ぶ直紀の世界 「ある風景」(上尾市)

画：飯野 直紀

綾瀬川と原市沼川の間にある風景です。よく訪れる所で地理的には上尾市でしょうか。自然が豊かで、いろいろな野鳥や、トンボ・蝶が見られます。川にはアユやタナゴもいます。この間散歩をしているとイタチに出会いました。

目次

- 民生委員制度創設100周年記念
平成29年度「第43回 埼玉県民生委員・児童委員大会」開催報告 …………… 2-5
- 民生委員制度創設100周年記念「全国民生委員児童委員大会」参加報告 …………… 6-7
- 共同募金運動に協力しましょう! …………… 8
- 平成29年度「ブロック別市町村民児協会長連絡会議」開催報告 …………… 9
- わがまちの単位民児協活動紹介ルポ(新座市・本庄市) …………… 10-11
- 民生委員・児童委員の声(加須市)、県民児協の3か月の予定 …………… 12

埼玉県民児協だよりでは、「民生委員及び児童委員」を「民生委員」と、「民生委員・児童委員協議会」を「民児協」と表記しています。



この広報紙は、共同募金の配分金により発行されています。

民生委員制度創設100周年記念 平成29年度 第43回埼玉県民生委員・児童委員大会 開催報告

平成29年9月7日(木)、「民生委員制度創設100周年記念 平成29年度第43回埼玉県民生委員・児童委員大会」が、さいたま市大宮区の市民会館おのみや「大ホール」で、埼玉県内の民生委員や関係団体、行政・社協職員等1,100名余の参加を得て、盛大に開催されました。



日程

- 開会のことば
- 国歌斉唱
- 慰霊黙祷
- 民生委員信条朗読
- 主催者挨拶
- 民生委員及び児童委員 知事功労章授与
- 優良民児協表彰
- 永年勤続単位民児協会長表彰
- 民生委員制度創設100周年記念 特別感謝
- 来賓祝辞
- 来賓紹介
- 受賞者代表謝辞
- (休憩)「民生委員制度創設100周年を振り返る映像」の上映
- 記念講演
- 「民生委員制度創設100周年を迎えて」～笑顔、安全、安心の地域づくりのために～
- 全国社会福祉協議会
民生部長 池上 実 氏
- 宣言採択
- 斉唱「民生委員の歌」
- 閉会のことば

式典

〔主催者挨拶〕

大谷県民児協会長



「1世紀にわたり培われた先人たちの思いを宝として、これからの100年に向け皆さまとともに、一歩ずつ歩んで行きたいと思います。」

上田県知事



「100年という月日の重みと感慨を深く感じております。これからも困っている人たちをカバーしていただきたいと思います。」

〔功労章及び表彰状授与〕(敬称省略)
民生委員及び児童委員知事功労章 (19名)



知事功労章受章者

◇優良民生委員・児童委員協議会表彰 (15地区)



受賞者代表
本庄市藤田・仁手地区民児協
会長 中野 勝三郎 氏

◇永年勤続単位民生委員・児童委員協議会会長表彰 (26名)



受賞者代表
川口市青木地区民児協
会長 北原 伸泰 氏

全国民生委員児童委員連合会
会長代理
副会長 大野 トシ子 氏



埼玉県議会
議長
小林 哲也 氏



【来賓祝辞】



受賞者代表
吉川市民児協
会長 野中 八重 氏

◇民生委員制度創設100周年記念
永年勤続民生委員・児童委員特別感謝
（123名）



資料詰の様子



当日の受付の様子

埼玉県民生委員大会は、県民児協男女共同参画推進部会及び埼玉県、関係団体等の協力を得て運営しました。

【大会運営のご協力ありがとうございました】



【民生委員の歌（花咲く郷土）斉唱】



民生委員及び児童委員
知事功労章
草加市
天野 達雄 氏

【受賞者代表謝辞】

大会宣言

大正6年、岡山県において創設された済世顧問制度を源とする民生委員制度は、本年、制度創設100周年という大きな節目を迎えるところとなりました。済世顧問制度に始まり、翌年、大阪府で創設された方面委員制度が全国に広がり、本県においては、大正8年に渋沢栄一翁の助言・指導のもと福利委員制度が設けられました。戦後、民生委員制度と改められ今日に至るまでの間、強い使命感と熱い情熱に支えられた私たちの先達は、いつの時代にあっても人々が直面するさまざまな課題に向き合い、住民に寄り添いながら、その幸せな暮らしを守るために活動を続けてきました。

民生委員・児童委員制度が大きな節目を迎える今日、全国的に少子高齢化や単身世帯、核家族化が進行するなか、家族の支え合い機能の低下や、地域の間関係の希薄化など、従来の見守り活動から漏れてしまう人々や、制度の狭間で福祉サービスを利用できないでいる方々が、地域から孤立してしまうという問題も社会的課題となっています。

こうしたなか、誰もが支え合い、助け合い、安心して生活を送ることができ、「地域共生社会」の実現に向け、私たちにも大きな期待が寄せられています。

本日、民生委員制度創設100周年を記念するこの大会を開催するにあたり、私たち埼玉県民生委員・児童委員一同は、先達の思いと委員活動の歴史をあらためて振り返るとともに、これからも、誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりを目指し、各市町村民生委員・児童委員協議会活動の強化と地域福祉活動の推進に取り組み、もって、本県社会福祉の発展に寄与することを決意し、ここに宣言します。

平成29年9月7日

民生委員制度創設100周年記念

平成29年度 第43回埼玉県民生委員・児童委員大会

【記念講演】

「民生委員制度創設100周年を迎えて」

笑顔、安全、安心の地域づくりのために

講師

社会福祉法人

全国社会福祉協議会

民生部長

池上 実氏



民生委員制度創設

100周年を迎えて

「民生」とは、国民の生活や生計を意味しています。民生委員は、「厚生労働大臣が委嘱する非常勤・特別職の地方公務員」と「地域福祉を担うボランティア」という二つの性格を持つ日本特有の制度です。

民生委員制度の本質は無報酬という点にあると考えます。報酬があるなら

ば、住民から見れば、「やってくれている」となり得ます。同じ住民の一員であり、無報酬であることが、信頼を得ることにつながり、だからこそ長く制度が続くことにつながったのだと考えます。

また、この制度が100年続いたのは、先達が自らの役割や活動のあり方を常に見直し続け、時代時代の課題を社会にアピールしつづつ活動したこと、社会から必要とされたためだと思えます。

濟世顧問制度を創設した笠井信一岡山県知事と、方面委員制度を創設した林市蔵大阪府知事は、「人によって成り立つ制度である」という同じ思いを持っていました。埼玉県福利委員制度でも「人物に重きをおく」との方針がありました。そして、現制度においても、「地域のために」という思いを持っている人が重要といえます。

昭和7年、全日本方面委員連盟（全国民生委員児童委員連合会の前身）が発足しました。初代会長には、「日本資本主義の父」と言われた埼玉県深谷市出身の洪沢栄一氏が推挙されました。洪沢氏は生活保護法の前身である救護法実施に向けても情熱を注ぎ、方面委員の活動を後押ししました。

これからの民生委員・児童委員活動

1 「地域共生社会」実現への取り組み

地域共生社会とは、すべての人が「支える側」、「支えられる側」に分かれることなく、それぞれ役割をもちながら、地域活動に参加できる社会です。そのキーワードとされているのが

「我が事、丸ごと」です。地域で起きている課題や他人の困り事を自分のこととして受け止める「我が事」と、対象者別や分野別の縦割りではなく、包括・総合性をもった相談支援を提供する「丸ごと」です。

民生委員には、課題を抱えた住民を早期に見出し、適切な支援につながることや、住民参加のもとで課題を解決していくための地域づくりへの働きかけなどが期待されています。「隣人愛」我が事、「あらゆる相談に応じる」丸ごと」であり、地域共生社会という考え方は、まさに民生委員の活動そのものといえると思います。

2 新スローガンと活動強化方策

全民児連では民生委員活動の新スローガン「支えあう 住みよい社会

地域から」を定めました。これは、住民が支え合う社会、誰にとっても住みよい社会は、それぞれの「地域」での取り組みが大切であり、それが社会全体に広がっていくなかで実現されるというところで、地域での活動の大切さを再認識していきましょうという思いが込められています。

また、100周年活動強化方策では3つの重点を掲げています。

①住民自身が地域を支える力になるように、地域のつながり、地域力を高めるための活動

②さまざまな課題を抱えた人を支えるために、声をかけあえる関係性をつくる活動

③今後も民生委員制度を守り、発展させていくための活動

こうした活動を通じてめざすものは、「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる地域づくり」です。笑顔でいられるためには生活の安全と安心が不可欠です。災害への備えや防犯、また何かあっても頼ることのできる制度があり、人がいる安心感などです。民生委員の存在そのものが地域のセーフティーネットといえると思います。

地域の笑顔のために、まず、民生委員自身が無理をせず、笑顔でできる活動を行なっていきましょう。

民生委員及び児童委員
知事功労章受賞者

19名

越谷市	谷中礼子
川口市	北沢小枝子
川口市	保谷孝子
川口市	須賀ヒデ子
所沢市	柿島邦子
春日部市	荻谷京子
草加市	天野達雄
蕨市	星多賀子
朝霞市	比留間光子
朝霞市	茶屋芳夫
朝霞市	高橋充世
和光市	竹村幸子
和光市	益子絹恵
新座市	有川ミチ子
八潮市	佐藤恵子
八潮市	秋山和子
八潮市	小倉茂
三郷市	河野洋子
三郷市	佐藤はつ

優良民生委員・児童委員協議会表彰受賞地区

15地区

加須市	志多見地区	民児協
春日部市	武里西地区	民児協
草加市	草加中央地区	民児協
越谷市	出羽地区	民児協
川越市	第2地区	民児協
所沢市	新所沢地区	民児協
飯能市	名栗地区	民児協
入間市	豊岡第三地区	民児協
ときがわ町	民児協	
川口市	神根地区	民児協
鴻巣市	箕田地区	民児協

上尾市	平方地区	民児協
北本市	南部地区	民児協
本庄市	藤田・仁手地区	民児協
深谷市	花園地区	民児協

永年勤続単位民生委員・児童委員協議会会長表彰受賞者

26名

川越市	第7地区	民児協
熊谷市	第2地区	民児協
川口市	青木地区	民児協
行田市	南部地区	民児協
加須市	大桑地区	民児協
加須市	尾高幸江	
加須市	騎西地区	民児協
加須市	大利根地区	民児協
本庄市	藤田・仁手地区	民児協
東松山市	松山第二地区	民児協
春日部市	武里西地区	民児協
狭山市	入間川東地区	民児協
狭山市	富士見地区	民児協
上尾市	平方地区	民児協
草加市	谷塚西部地区	民児協
草加市	松原地区	民児協

東松山市	松山第二地区	民児協
春日部市	武里西地区	民児協
狭山市	入間川東地区	民児協
狭山市	富士見地区	民児協
上尾市	平方地区	民児協
草加市	谷塚西部地区	民児協
草加市	松原地区	民児協
川口市	北原伸泰	

越谷市	出羽地区	民児協
蕨市	錦町地区	民児協
入間市	藤沢第二地区	民児協
久喜市	久喜第5地区	民児協
北本市	中丸地区	民児協
北本市	公団地域地区	民児協
蓮田市	第四地区	民児協
ふじみ野市	西地区	民児協
白岡市	荻荻地区	民児協
東秩父村	民児協	

民生委員制度創設100周年記念
永年勤続民生委員・児童委員特別感謝受領者

123名

川越市	田中幸子
川越市	芝波田静香
熊谷市	倉崎より子
熊谷市	寺田治子
川口市	西浦浩美
川口市	永井ルミ子
川口市	鈴木規子
川口市	厚川育子
川口市	厚川葉子
川口市	北原伸泰

川越市	田中幸子
川越市	芝波田静香
熊谷市	倉崎より子
熊谷市	寺田治子
川口市	西浦浩美
川口市	永井ルミ子
川口市	鈴木規子
川口市	厚川育子
川口市	厚川葉子
川口市	北原伸泰

川口市	山野雅代	越谷市	中山八恵美
川口市	大谷富夫	越谷市	飯塚欣之
行田市	大澤良子	越谷市	須田邦彦
行田市	西山カツ枝	越谷市	石原秀子
行田市	杉浦美智子	越谷市	松隈素紗
所沢市	久保田千恵子	越谷市	齋藤君江
所沢市	水品悦子	越谷市	武井南海子
所沢市	木持弘年	越谷市	長谷川朱實
飯能市	岡田鈴江	蕨市	新井千鶴子
加須市	大塚稔	蕨市	鈴木榮子
本庄市	齋藤京子	蕨市	鈴木榮子
春日部市	木村美由紀	戸田市	白井陽子
春日部市	五反田恵子	戸田市	磯部恒子
春日部市	矢部知子	戸田市	片倉卓
春日部市	猪又實	戸田市	三木初美
春日部市	三浦宏之	長谷川	三佐子
春日部市	玉木光子	入間市	河村千保子
春日部市	金澤輝美子	入間市	大山久子
春日部市	鈴木浩子	朝霞市	土佐隆子
春日部市	藤野美佐子	朝霞市	大熊君枝
春日部市	小野澄子	朝霞市	吉田満子
春日部市	文屋晋和	朝霞市	久瀬逸子
深谷市	齊藤和子	朝霞市	塩味好郎
深谷市	宮島典子	朝霞市	橋本芳博
上尾市	廣田眞理子	朝霞市	飯野邦雄
草加市	長堀学	朝霞市	加藤洋子
草加市	平井律子	朝霞市	須田菊枝
草加市	清田幸子	志木市	市ノ瀬征雄
草加市	木村夏子	志木市	田中淑子
草加市	増田夏子	新座市	庭山淑子
草加市	川上登	新座市	細沼和夫
草加市	寶槻栄子	新座市	渡邊郁子
草加市	渡邊幸司	新座市	関口和江
草加市	中山和子	新座市	永井美知子
越谷市	高橋康子	新座市	廣谷春子
越谷市	平田妙子	新座市	飯嶋江美子
越谷市	川崎敏子	新座市	寺輪玲子
越谷市	山田翠子	新座市	橋本澄子
越谷市	新美由美子	新座市	渡邊洋子



平成29年7月9・10日の2日間にわたり、民生委員制度創設100周年を記念する「全国民生委員児童委員大会」が東京都で開催されました。9日に東京ビッグサイトで行われた記念式典には、天皇后陛下の御臨席を賜りました。全国で活動する23万人の民生委員のうち約1万人が集まり、これまでの100年の歴史を振り返り、その原点、そして多くの先達の思いを再確認するとともに、委員活動の一層の充実、発展に向け、思いを新たにいたしました。

民生委員制度創設100周年記念 全国民生委員児童委員大会 参加報告

開催日：平成29年7月9日(日)～10日(月)
開催地：東京都(東京ビッグサイト他)
本県参加者…268名



天皇后陛下両陛下ビッグサイト御到着

第1日(記念式典)

◆オープニング

民生委員制度創設100周年映像
「濟世顧問、

方面委員から民生委員へ」

◆第1部

◇開会宣言

東京都民児連
会長 寺田 晃弘 氏

◇民生委員物故者黙祷

◇民生委員信条朗読

◇天皇后陛下下御臨席

◇国家斉唱

◇式辞

全民児連
会長 得能 金市 氏

◇挨拶

前厚生労働大臣
塩崎 恭久 氏

全国社協
会長 斎藤 十朗 氏

東京都知事
小池 百合子 氏

◇表彰

厚生労働大臣特別表彰
全民児連会長表彰

◇天皇后陛下下御退席

◇登壇者紹介

◇閉会の辞

東京都社協
会長 青山 侑 氏

◆記念講演

「あたたかい社会をつくる」
諏訪中央病院名誉院長

鎌田 實 氏



◆第2部

◇大会宣言

◇拠金贈呈

◇次期開催地挨拶
沖縄県民児協
会長 藏當 博文 氏

◇民生委員の歌斉唱

「花咲く郷土」

◆アトラクション

江戸消防記念会



全民児連会長表彰

これからの民生委員・児童委員活動に関するスローガンが決定しました！

「支えあう 住みよい社会 地域から」

(提案者 大阪市鶴見区民生委員児童委員協議会)

スローガンの著作権は全民児連に帰属します。ただし、これは、全国の都道府県・指定都市・市区町村(単位)民児協が民生委員活動の普及のために使用することを妨げるものではなく、自由にお使いいただくことが可能です(ただし、スローガンの改編することはおやめください)。

第2日 「テーマ別研修」

10日は、社会の変化を踏まえて、民生委員としてどのような役割を果たしていくことが期待されるのかを学ぶことを目的に、東京ビッグサイトを他、6つの会場でテーマ別研修が行われました。

〈各テーマ〉

- ① 民生委員制度創設の原点を学ぶ
- ② これからの民生委員・児童委員活動
- ③ 地域共生社会の実現に向けて
- ④ 子どもたちの未来のために
- ⑤ これからの民児協活動に向けて
- ⑥ 小規模発表集会

⑥ 小規模発表集会は、全国各地の活動事例を紹介し、その経験を学びあい、参加者同士が交流することを目的として開催されました。

67の都道府県・指定都市ごとに、2つの単位民児協が活動発表を15分ずつ行いました。本県からは、狭山市入間川地区民児協、新座市西部地区民児協が発表を行いました。

狭山市入間川地区民児協 テーマ「高校生が民生委員を体験」～民生委員制度創設100周年に係る狭山市の取り組み～

市内の高校生が春休みを利用して行った一日民生委員体験活動について発表されました。



新座市西部地区民児協 テーマ「主任児童委員と区域担当民生委員との連携による子育て支援」

虐待を受けていた児童との関わりを朗読劇にして、発表されました。



会場全体の様子 (東京ビッグサイト)



第1日、記念式典の集合場所(268名)での整列や点呼、会場内でのお弁当配布等、ご協力いただき、ありがとうございました。

市町民児協事務局職員の方にご協力いただきました

共同募金運動に 協力しましょう！



～共同募金への担当地区内での個人大口・法人募金協力者の開拓に協力しましょう～

地域における各種福祉サービス活動及び施設等における設備充実のために、共同募金運動に対して大きな期待が寄せられています。

県民児協では、7月に開催された理事会（7/12開催）及び評議員会（7/28開催）において、民生委員が地域福祉の推進役として積極的に共同募金運動に協力することを目的に、次のような申し合わせをしましたので、特段のご高配をお願いいたします。

平成29年度一般募金目標額 **682,000,000円**

(支会募金669,971,000円、本部扱募金12,029,000円)

1 趣旨「個人大口・法人募金」協力者の開拓

各市町村共同募金支会における募金組織の活動方針に即応しつつ、各民生委員が支会の奉仕者として、担当地域内において主として「個人大口・法人募金」にかかる新たな理解者・協力者の開拓推進に協力する。

2 目標及び方法

- (1) 県民児協の「申し合わせ」として、おおむね1人の民生委員あたりに換算して、1万円以上の実績が上がることを目標として、理解者・協力者の開拓に努力するものとする。
- (2) この運動による実績は、全て各市町村共同募金支会の実績額に組み込まれるものであり、民児協としての特別枠をたてるものではないこと。
- (3) 実施にあたっては支会事務局と密接な連携のもとに同支会の策定する募金活動の要領に沿って実施するものとする。

3 その他

各市町村支会の募金（戸別募金・街頭募金・学校募金・バッジ、クオカード、図書カードを使用した職域募金並びに個人大口・法人募金）については、目標額の50%を超えた実績額が、地元市町村社協が行う地域福祉活動の財源として助成されることとなります。

平成26年度から共同募金運動の期間を10月1日から翌年3月31日までの6ヵ月間に拡大されました。

<例>

●100%の場合

目標額5,000,000円・実績額5,000,000円

5,000,000円 { 50% = 2,500,000円
50% = 2,500,000円(市町村社協に助成)

●120%の場合

目標額5,000,000円・実績額6,000,000円

5,000,000円 { 50% = 2,500,000円
50% = 2,500,000円 + 1,000,000円(目標超過額) = 3,500,000円(市町村社協に助成)



昨年の街頭募金活動の様子
(JR浦和駅)

平成29年度「ブロッック別市町村民児協会長連絡会議」開催報告

平成29年7月に各市町村民児協会長を対象に、県内4会場で「ブロッック別市町村民児協会長連絡会議」を開催しました。

この会議は、市町村民児協相互の連絡提携を図り、民児協活動及び運営上の諸課題について研究協議を行うことを目的に開催当番市のご協力を得ながら開催しています。

今年度は「年金受給資格期間短縮に伴う対応について」の講義と、「わがまちの取り組み自慢」と題して各開催市民児協の実践事例発表、そして「市町村民児協会長が抱える諸課題について」の研究協議を行いました。

開催日／場所

- 【東部】 7月25日 / 吉川市
- 【西部】 7月4日 / ふじみ野市
- 【南部】 7月13日 / 新座市
- 【北部】 7月19日 / 行田市

講義

「年金受給資格期間短縮に伴う対応について」

講師

日本年金機構

(東部・北部)



浦和年金事務所
上席年金給付専門職
小島 幸子 氏

(西部・南部)



川越年金事務所
上席年金給付専門職
三上 里奈子 氏

平成29年8月より、納付した年金保険料に応じた給付を行い、年金を受け取れる方を増やし、将来の無年金者の発生を抑えていくことを目的に、年金の受給に必要な保険料納付済期間及び保険料免除期間等を合わせた期間(受給資格期間)が「25年」から「10年」に

短縮されることになりました。※年金の額は、納付した期間に応じますので、10年の納付では受け取る年金額はその分少なくなりません。

◆年金請求の基本的な流れ

①期間短縮年金請求書が届く(日本年金機構が把握している対象者に平成29年2月7月にかけて順次発送済みです)。

②期間短縮年金請求書に記入し、添付書類を準備する(添付書類は家族構成により異なります)。

③「ねんきんダイヤル」で相談・手続きの予約をする(添付書類等の確認もできます)。

④年金事務所へ訪問し、請求書を提出する(全国どここの年金事務所でも構いません。また、郵送でも手続き可能です)。

⑤年金を受け取る(受給資格が発生した月の翌月分から受け取ることが出来ます。また、請求が遅れても、5年前までは遡って給付されますが、それ以前のは支払われません)。

◆**第三者による証明欄について**
亡くなられた方の未支給年

金または遺族年金を請求する際、請求者と亡くなられた方が別世帯であった場合、生計同一関係または生計維持関係にあったことを第三者の方に証明をしていただく必要があります。

その証明は状況を知る方にお願ひしていますが、民生委員の方にお願ひする場合があります。年金をお支払いするのに必要な書類ですので、依頼があった場合はご協力をお願いいたします。

最後に、期間短縮年金請求書が届いたら、手続きをした後に年金支給になる旨を相談者にお伝えください。

準備する書類や不明点、相談・手続きの予約は「ねんきんダイヤル」のご案内をお願いします。

「ねんきんダイヤル」
0570-0511165

実践事例発表

「わがまちの取り組み自慢」

【発表者】

○東部ブロッック

吉川市民児協

副会長 鈴木 庄次 氏

○西部ブロッック

ふじみ野市民児協

副会長 市来久美子 氏

研究協議

「市町村民児協会長が抱える諸課題について」

課題とその解決策についてグループ討議をしました。

「福祉関連会議等への参加要請について」は、会長だけでなく副会長などの委員にも担当してもらい、会議出席後は報告を行う。

「組織の運営体制について」は、定例会の前や後に役員会を開き、定例会の議題などについて話し合いを行う。また、各委員一度は発言する雰囲気づくりを大切にします。

「各委員同士のコミュニケーションの取り方について」は、日帰りや宿泊の研修を行い親睦を図る。また、会長や副会長などの役員が積極的に声掛けを行う。

会長職としての悩みや、各市町村ごとに異なる諸課題について共有し、取り組み方や対応策など今後の活動に向けて貴重な研究協議の場となりました。

新座市

小中学校の美化活動

植木は植木らしく

①活動が始まったきっかけ

PTA活動10周年記念にて、校舎の前に植木場を作りました。

その後、15年程経過し、民生委員と学校の懇談会が毎年行われている中で、木がどんどん伸びていくのを見て、校長先生と話し合い、みんなで植木の手入れを行うことになりました。



ちょっと休憩
だいぶきれいになりました

②活動事例

地区内には、小学校4校、中学校2校あります。学校との懇談会、体育祭、入学・卒業式等学校に行く機会がたくさんありますので、樹木の手入れ「植木は植木らしく」を実行し、大変喜ばれております。また、毎年、市のコミュニティ協議会による「花いっぱい運動」



部活中の児童もお手伝いしてくれました

に参加をし、毎年西堀小・新堀小へのパンジー植えを行っております。

また、新座中学校8、9、10組の生徒と毎年ひょうたん植えを行い、管理・指導をしています。

本年6月には、野火止小学校との懇談会の席上で、校舎前の田んぼに「蚊」がわくとのお話をいただき、その対策として、田んぼに金魚を入れました。ところが、水がなくなつた場合に金魚が死んでしまうので、プラスチックの箱を設置し、水が少なくなつた際は、そこに入れるようにしました。現在では金魚も大きくなり、稲も元気に育っています。



シラコバト賞を受賞しました

③成果

平成24年に「住みよいふるさとをつくる活動」としてシラコバト賞を受賞いたしました。

④今後の課題や抱負

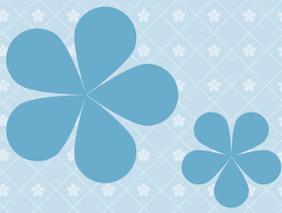
子どもたちのために、学校をきれいにすることが大切だと思います。

また、主任児童委員が学校に訪問する機会も増えるので、互いの信頼関係が構築され、児童の健全育成につながると思いますので、今後も継続していきたいです。



作業終了！みんなで集合写真

新座市 西部地区民児協	民生委員 37名	主任児童委員 2名
----------------	-------------	--------------



わがまちの単位民

本庄市

民生委員発!!地域の活性化

指定民児協を受けて



藤田・仁手地区民児協は、市の北東部に位置し、利根川を背に五州が一望に眺められる山紫水明の地にあります。この歴史と伝統を誇る郷土は、豊かな風土に恵まれた農村地域で、主に野菜の生産地として発展して参りました。

委員活動は、自治会長との意見交換会やヒアリング、地元施設への慰問、情報交換、学校行事への参加、そして児童登下校の見守り等、積極的に連携し活動をしており、平成27年には埼玉県より「埼玉・教育ふれあい賞」をいただきました。



見守り活動に対する児童からの「お礼の手紙」

しかし、本庄市内でも最も高齢化率が高く、単身高齢者が多いこの地域で、このままでは高齢者が孤立し、最悪は孤独死などが増えてしまうのではないかと思うようになりました。この問題に直面した時に転機となったのは、第22期指



学校行事への参加
(生徒と園児の交流会をケーブルテレビも撮影)

定民児協へ指名されたことでした。民生委員が中心となり、地域住民と力を合わせ、この地域を活性化することができないか、委員同士が意見を出し合った結果、高齢者同士の繋がりを深め、コミュニケーションと適度な運動ができるよう、まずはサロンを立ち上げることから始めることになりました。これまでひとつもサロンがなかった地域に、短期間に6ヶ所の高齢者サロンを立ち上げることは、地区の自治会や老人会、市役所そして社会福祉協議会等、大変多くの方にご指導、ご協力をいただきました。高齢者が気軽に楽しく継

続して参加していただけるようなサロンになるよう、委員が一丸となり検討を重ねました。サロンを通して住民と直接触れ合う機会が増えるとともに、自治会との連携もますます良くなり、いろいろな方から見守りに必要な情報も得られるようになりました。利用者からは「サロンに参加するようになって体力がついてきた」と喜んでいただいております。



小和瀬サロンの活動風景

次に、高齢者の見守りや支援体制を強化するため、福祉マップの作成を行いました。この作業にも市役所等行政機関や自治会から協力をいただきました。地域の地図に見守り対象者世帯、災害時要援護者世帯、避難場所等を記載した大小2種類の福祉マップを作成し、日常の見守りや避難支援等が円滑に行えるようにしました。その結果、緊急事態にも迅速に対応できると



福祉マップの作成

指定民児協の指名から2年で地域の活性化が図られたと感じました。地域福祉を担う民生委員の課題は、今後ますます多様化・複雑化・深刻化していきま

本庄市	民生委員	主任児童委員
藤田・仁手地区民児協	13名	2名

「民生委員・児童委員の声」



加須市水深地区
民生委員・児童委員協議会
会長 小川 良雄 氏

「学童参観・支援」を通して

加須市では、放課後児童の健全育成事業として、「放課後児童クラブ」と称して、学童保育を実施しています。当水深地区では、急激な児童の増加に伴い、一つの小学校区内でありながら、本年度より三つの放課後児童クラブが設置されています。

本協議会では、この学童保育の実態を知ることと、利用している児童への支援を図ることを目的として、3年前より「学童参観・支援」と称した活動を行っています。ここで「参観・支援」としたのは、学童保育での児童の活動の様子や、指導員の対応の様子などをただ見るのではなく、ひとりの大人として、指導員の働きへの支援や、児童の健全育成への支援ができるようにしようとする意味があります。

初年度（平成26年度）は、平常の放課後の学童保育を対象として実施しました。方法としては、各委員の都合のつく日時を計画表に記し、学童保育指導員にお知らせしたうえで、一度に1〜3名程度で参観・支援を行いました。

放課後のみでは、短時間であり役に立たなかったとの意見があり、平成27年度からは、夏休み中の参観・支援とすることにしました。方法は今までと同じで、時間を9時半から11時半の2時間としました。これにより、委員がそれぞれ趣向をこらしての参観・支援となりました。読み聞かせを得意とする委員、趣味のフラダンスを児童と一緒に踊る委員、児童のなかに入って一緒に遊ぶ委員などさまざまです。受け入れてくれる学童の子ども達や指導員の皆さんからも歓迎を受けており、継続した活動となってきました。

学童の参観・支援を通して、今の児童の考え方や態度、対応する指導員の働きの重要性、背景にある家庭や地域の実情等を知ることができ、民生委員としての活動により一層の深みがでてきたように思います。

平成29年 県民児協の予定

10	11	12
1日~5日 赤い羽根共同募金運動	10日 埼玉県社会福祉大会	4日 生活福祉資金制度説明会
9日 100周年記念編集委員会	11日 栃木県民生委員児童委員大会	7日 広報委員会
10日 防犯のまちづくり県民大会	13~15日 全国民生委員リーダー研修会	16日 第10回埼玉一賞表彰式
13日 「君の笑顔に会いたくて」映画試写会	15日 横浜市民生委員児童委員大会	
21日 群馬県民生委員児童委員大会	15~16日 静岡県民生委員児童委員大会	
23日 埼玉・教育ふれあい賞表彰式	19日 すこやか会（OB会）視察研修	
24日 全児連評議員会	20日 みんな幸せ・共生社会 県民のつどい	
25日 全児連評議員セミナー	22日 主任児童委員セミナー	
	22日 埼玉県更生保護大会	
	22日 全国社会福祉大会	
	22日 静岡県民生委員児童委員大会	
	28~29日 理事・監事・評議員男女共同参画推進部会合同県外視察研修	
	28日 第144回理事会	

「民生委員・児童委員の声」原稿募集中

— 民生委員が日頃の活動の中で思ったこと、知って欲しいことなどを広く一般県民の方々に知ってもらうためのものです。
— 会員の皆さん奮ってご投稿くださいますようお願いいたします。

※【民生委員・児童委員の声】募集要領

- 1 民生委員・児童委員活動に関するものであれば内容は自由です。
- 2 原稿は、800字以内とする。
- 3 応募は1人1任期中1回限りとする。
- 4 掲載は毎月1人とし、投稿者氏名及び市町村名を掲載する。
- 5 発行月の2ヶ月前までにご応募いただいた原稿の中から、広報委員会で選考のうえ掲載する。
— なお、加筆・修正等をする場合があるので、住所・電話番号を必ず明記のうえご投稿ください。
- 6 投稿された原稿は返却しません。

提出先

〒330-0075
さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65
彩の国すこやかプラザ
一般財団法人埼玉県
民生委員・児童委員協議会
広報係宛

編集後記

「民生委員制度創設100周年記念」全国民生委員大会に参加させていただき、心に残る経験をしました。改めて先人の方々のご苦勞に感謝の念をいだき、民生委員の歴史を感じています。近年、いろいろな所で大規模災害が発生し、自然の恐ろしさを痛感しています。埼玉県は災害の少ない県と言われていますが、予測できないのが自然災害かと思えます。私たち、民生委員は常日頃から担当地区の実情を把握し、活動していると思えます。また、今年は夏の長雨により農作物への被害も懸念されます。太陽の恵み、食物のありがたさに感謝し、生活していきたいと思えます。

（鴻巣市 酒巻 喜久子）

埼玉県民児協だより No.154 平成29年10月1日発行
発行所 一般財団法人埼玉県民生委員児童委員協議会
〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ内
TEL 048(822)1197 FAX 048(822)6586